

工場管理

賀川忠彦

ストライキやサボタージュは労働者解放の道程に於てはあまりに消極的であり、國家の産業を萎靡せしむ。果しては労働者階級のたゞ格差をせしめざる外に危險あり。工業階級の労働階級は産業管理に異能力の才角向に向ふ下である。産業管理に異能力による工場と領には無り。一産業に従事する全労働者の合理的決定による建設的企圖である。消極的ストライキや怠業は非常中にも必要である。一全産業労働者が完全なる團結の下に積極的の作に従事することには實に至難な事である。然し労働階級の全人意識